

## PTA人権講演会

### 『情報機器に潜む危険性を学ぶ』



6/16（木）に、仏教大学教授の原清治先生を招き、情報機器の危険性についてのお話を聞きました。講演が始まった瞬間から、原先生の‘ええ声’とユーモアあふれるお話に引き込まれ、多くのことを考え、学ぶことができました。

ネット上に書いた暴言は冗談にならないこと、友達のネタを笑いにするLINEでのいじりが最近増えていること、ネット上に書いたことは一生消えないこと、ネット上の情報が正しいとは限らないことなど、情報機器の使い方を考えさせられました。

これからの時代、誰もが使うであろう情報機器。正しい使い方を身につけ、人を傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりすることのないように気をつけなければなりません。

#### 【感想より】

\*情報機器は便利な面もありますが、光の裏には影があることが分かりました。軽い気持ちで人の個人情報や流したり悪口を言ってしまっている人が、世界中にすごくたくさんいるんだなあと思いました。また、インターネット上に流してしまったものはもう消すことができず、一生残ってしまうので、簡単にあげてはいけないんだなあと思いました。今してしまったことが自分が社会に出るときに、自分をしばってしまうんだということがすごく心に残りました。

\*今日は、中高生の実話を聞いて、本当にそんなことが身近に起こっているんだなあと思いました。最近では、「いじめ」ではなく、「いじり」が問題になっていることが分かりました。悪意を持っていなくても人を傷つけることもあるんだなあと思い、私も気をつけなければいけないなと思いました。私はスマートフォンを持っていませんが、高校生になったら持つことになると思うので、今日の話振り返って使い方に気をつけようと思いました。

\*人の個人情報を勝手に流すのは良くない、「いじり」はいじめとつながっていることを学びました。いじられる人は、本当は悲しいけど無理に人と合わせていることを知り、そういうところにも気づける人になれば、悲しむ人がもっと少なくなることも分かりました。いじる人は悪いとは思っていないので、気づいた人がいじめにつながることを教えてあげると、もっと良い人間関係になるんじゃないかなと思いました。

\*今はSNSやLINEなどの機能があって便利だけど、いじめなどにつながっていくことが分かった。自分が将来、情報機器を持つことになったら、人の悪口を書いたりしないようにしていきたいと思いました。情報機器だけでなく、普段の生活から言わないように気をつけたいと思いました。便利だけど、情報機器の怖さが分かりました。

